

現地調査状況報告（早池峰山山頂避難小屋）

1. 調査の要旨

花巻市の早池峰山頂にある避難小屋は、昭和 61 年に竣工し、築 34 年が経過している。岩手県自然環境保護課が施設を所管し、維持管理は花巻市が行っている。

これまで、当該避難小屋については、当部会である早池峰山山頂避難小屋あり方検討部会において、建替えを含めた様々な意見が出されており、平成 27 年度には構造物の状態を確認するため、建築住宅課による現地調査を行っている。

調査結果としては、「外装に痛みはあるものの主要構造部に腐食が無いため、建替えの必要は無い」との報告となっていたが、前回調査から 5 年が経過したことから、再度避難小屋の状態について確認するため、今年度に現地調査を行ったもの。

2. 調査の概要

調査日： 令和 2 年 8 月 21 日(金)

調査者： 建築住宅課 平宮繕課長、高宮技師

内 容： 「建築物定期点検票（早池峰山山頂避難小屋等）」による。

方 法： 目 視 ・ ・ ・ ・ 仕上げ材等の劣化状況確認

下 げ 振 り ・ ・ ・ ・ 柱の傾き確認

打 診 ・ ・ ・ ・ 構造部材、土間等の劣化状況

3. 調査結果の概要

平成 21 年度に屋根及び外壁の改修工事を行っているため、屋根や外壁は大きく支障はなかった。また、柱、梁、基礎においても比較的健全な状態であることが分かった。

しかし、棟木、天井及び内壁に著しい腐食や黒カビが見られており、腐食が進行すれば構造的に支障をきたすと想定される状況が確認できた。また、扉や窓など建具等にも劣化が見られた。

4. 今後の対応

今回調査結果を受け、棟木等の腐食には結露が起因していることが想定される（“別紙”参照）ことから、改めて詳細調査を行い、原因を特定し、対策を検討する必要がある。





早池峰山山頂避難小屋に係る棟木等の結露について

1. 結露の状況について

(1) 棟木、天井板

- ① 棟木は、降雨時でなくとも結露水がしずくとなっており、黒く変色し腐食が特に進行している。
- ② 天井板は、黒カビや白カビが繁殖し、腐食が進んでいる。

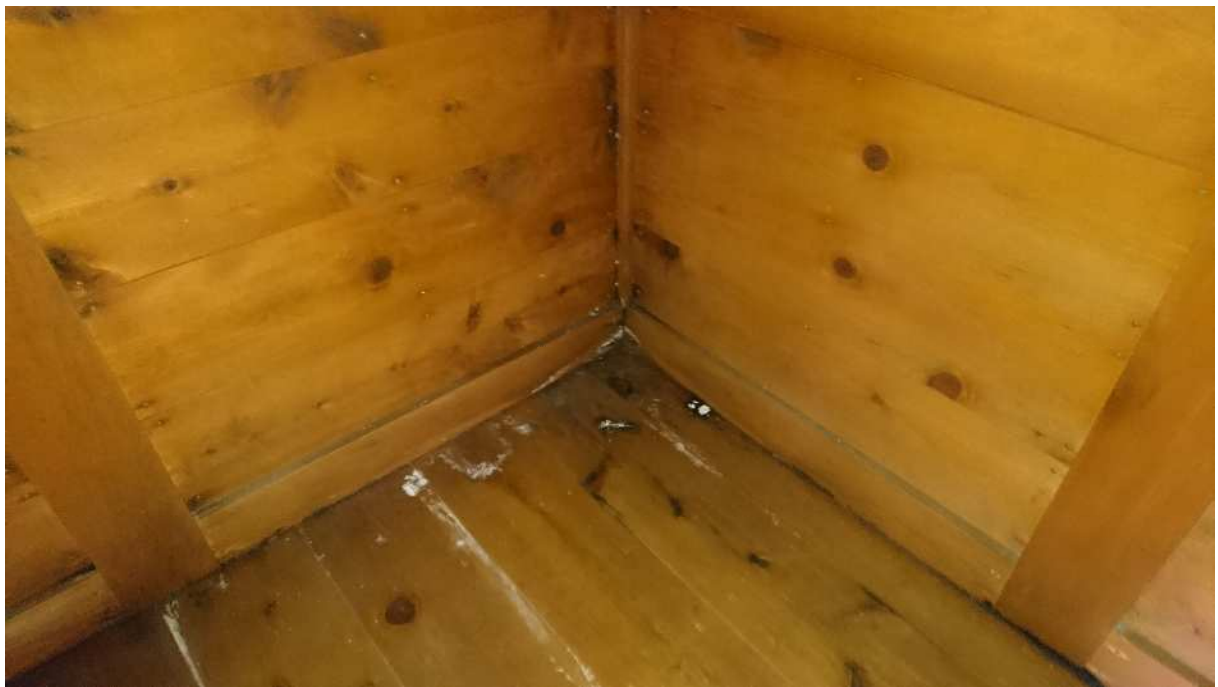


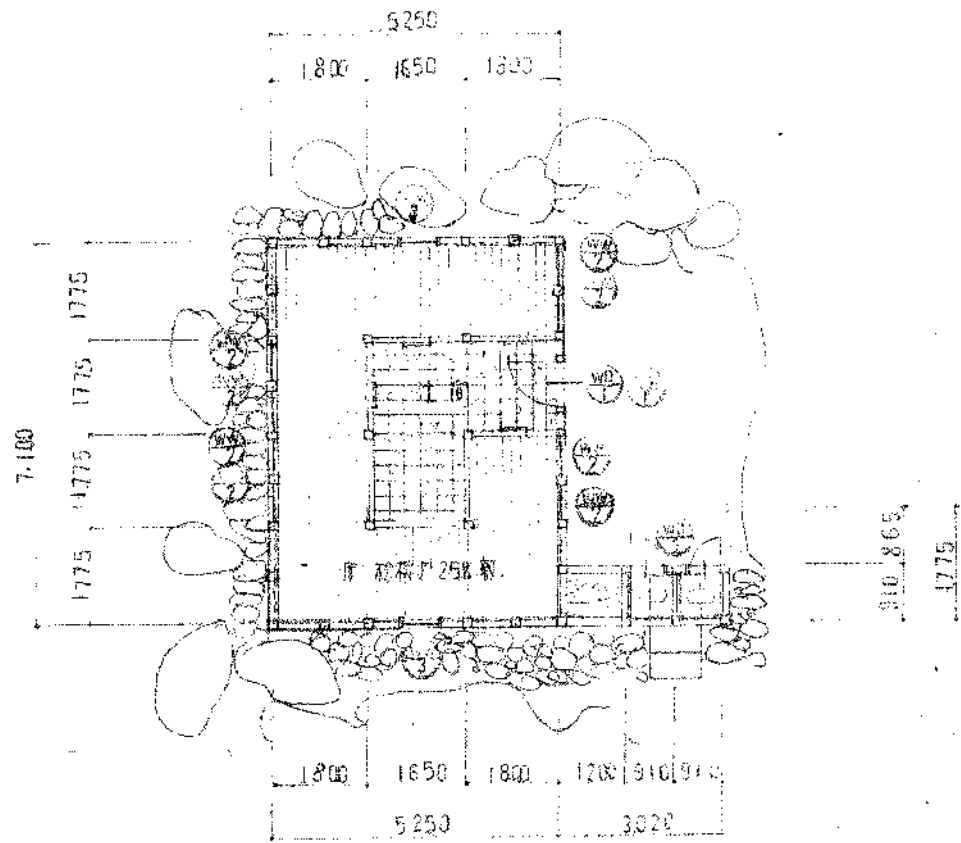
(2) 野地板、垂木

- ③ 天井板をはがさないとわからないが、天井板の腐食の状況から想定すると、野地板、垂木とも腐食が進行している。

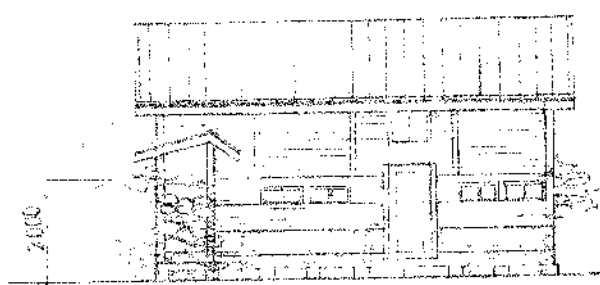
(3) 内壁、床

- ① 1階の内壁については、黒カビや白カビの繁殖が広範囲に見られ、壁体内部結露が進行している。
- ② 小屋裏階の内壁については、一部緑カビの繁殖が見られたが、黒カビの繁殖は多くなく、腐食の進行は少ない。
- ③ 床については、特に四隅に黒カビや白カビが繁殖しているが、腐食の進行は少ない。

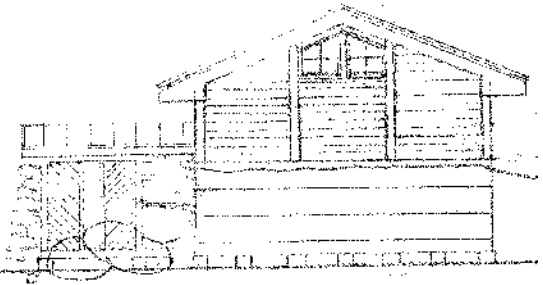




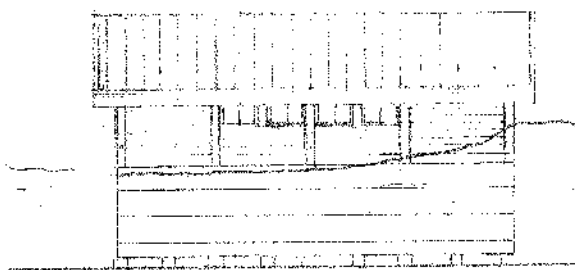
平面図



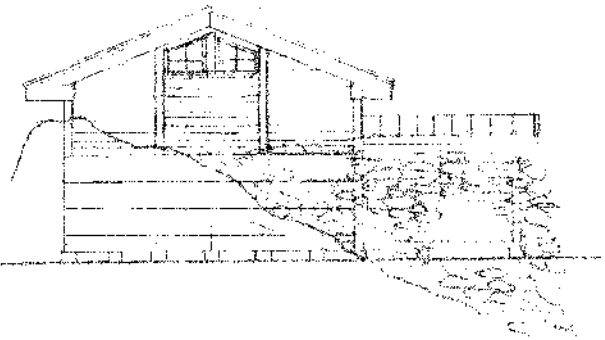
東側 立面図



北側 立面図



西側 立面図



南側 立面図